



# 碧南ロータリークラブ週報

第3016回例会 令和4年6月8日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

## ●本日のお弁当

大正館

## ●本日のお客様

在名古屋米国領事館 首席領事 マシュー・センザー様  
" 広報企画調整官 田中里佳様

## 会 長 挨 拶

改めまして、皆さん、こんにちは。

関東甲信では6日に梅雨入りが発表されました。関西や東海を飛び越えて関東が梅雨入りしたというのが何十年ぶりという報道が流れておりましたが、この地域も今週末ぐらいから梅雨入りするのではないかとされています。この時期に

なると、気圧や気温の変化で頭痛や倦怠感などの気象病を訴える方が増えてくると言われていますので、会員の皆さんにおかれましては、十分にご自愛いただきたいと存じます。

さて、本日は外国人の方の中でも普段はなかなかお近付きになれない方をお迎えしております。卓話をしていただくということで、外国領事館のお仕事について少し調べてまいりました。自国民の保護、ビザの発行、友好親善、国際会議の準備など、多岐にわたっておりまして、本当にお忙しい中お越しいただきました。ありがとうございます。

一方で、コロナ禍明けということもありまして、最近では外国人の方がたくさん日本に入ってきております。私たちの職場の中にもここ最近では外国人の労働者の方が本当に増えておりまして、うちの会社もここ1年間でかなり増えております。この6月によく技能実習生が入国して配属されることになっております。うちの会社ので恐縮なんですけれども、実は自動車整備の関係でなかなか従業員が取れなくて、今回はカンボジアから2名の技能実習生を採用致します。それから、プラスチックの成形で中国から2名を迎え入れることにな



新美雅浩会長

りました。他にもここ 1 年間でブラジル、フィリピン、ペルー、アメリカの方を採用しております。日本人の方がなかなか来ていただけない状況になっております。

今の時代、多様な人材を採用して、企業の戦力として迎え入れて、上手に活用していくことが企業の生産性向上の為に必須になるんじゃないかなあと考えております。ただ、そんな中でも色々と難しい面があるのが実情でございます。外国人の労働者の方の中には日本語が堪能な方ばかりではなくて、特に永住権や定住権を持たない技能実習生などは話が通じない状態で配属されるケースが大半でございます。外国人の方とコミュニケーションをしていく中で、特に障害なのが日本語の独特な言い回しでございます。そのことを日本の企業が十分に理解した上で外国人の労働者の方と丁寧に接していかないと、話したことが全く逆の意味にとらわれかねないこともございます。今日はその事例を少し調べてきましたので、ご紹介したいと存じます。

まず、最もよく使われていて誤解を招く言葉遣いなんですけれども、日本人が「いいです。」「大丈夫です。」と言い回して使うことがございます。例えば、技能実習生が「これ片付けますか？」と尋ねて、上司が「それいいよ。」と言った時に技能実習生は片付けていいと理解する訳で、上司は片付けなくていいと言ったつもりが全く逆の意味にとらえられてしまうということがございます。その際に本来であれば、上司が「片付けなくてもいいよ。」というように丁寧に伝えればいい訳ですけれども、なかなかそういったことができなくなっているということでございます。

その他に外国人の方が理解に苦しむのが、タメ口のような言葉遣いでございます。これはそれぞれの方言も手伝いまして、なかなかニュアンスが伝わりにくいということがよくあると聞いております。

いずれにしても、相手の立場になって自分の言いたいことをどう伝えれば理解してもらえるのかを考えて、面倒でもはっきりと伝えることが誤解を防ぐ最も大切な要素でございます。それを怠ってしまうと、日本人同士でも特に気を付けなきゃいけないのが夫婦間でのトラブルで、亀裂の原因になる可能性があるということをお伝えしまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞ本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 12 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ローターレート変更のお知らせということで、RI 日本事務局より 6 月のレートのお知らせが届いております。現行 1 ドル 130 円から 127 円になります。
- ・ ガバナーエレクト事務所より「2023 年 RI 国際大会（メルボルン）登録のご案内」が届いております。



栗津康之幹事

## 委員会報告

### <出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 62 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 10 名) 出席者 51 名	
出席対象者 51/59 名	出席率 86.44%
欠席者 11 名 (病欠者 1 名)	

### <ニコボックス>

岡島 晋一君 } 6月7日に3年ぶりに碧南市消防団観閲式を無事行う事が出来ました。お  
石川 鋼逸君 } 忙しい中、新美会長、木村副会頭、角谷・杉浦・長田歴代団長に御臨席頂  
き、誠に有難うございました。

岡島 晋一君 本日、卓話講師 マシュー・センザー様を紹介させていただきます。

## 卓 話

### 「アフリカからアジアへ：外交活動、日米関係、世界的な課題に関する考察」

在名古屋米国領事館 首席領事 マシュー・センザー様



マシュー・センザー様

皆様、こんにちは。

本日はまず、私自身のこと、経歴、そして在名古屋米国領事館に勤務することになった経緯についてお話ししたいと思います。

その上で、日米関係の重要な側面をいくつか取り上げ、なぜ日米同盟が両国だけでなく、インド太平洋地域や世界全体にとって重要であるかを説明いたします。

最後に、名古屋領事館と、日米関係を強化するため私たちが行っている業務について少しお話しいたします。

私はミシガン州で生まれ、そこで幼少期を過ごしました。日本の自動車産業の中心が名古屋であるように、ミシガン州は米国自動車産業の中心地です。祖父も父も自動車メーカーでエンジニアとして働いておりましたので、幼い頃から車にとっても興味がありました。

また、私は世界に対する好奇心が旺盛で、旅行や異文化を学ぶのが大好きでした。最も古い記憶のいくつかは、世界のさまざまな地域についての本を読み、異なる文化、習慣、歴史について学んだことです。また、両親と旅行した時、旅をする機会がある仕事、特に海外に行ける仕事に就けたらどんなに楽しいだろうと考えたことを覚えています。

大学は自宅からそれほど遠くないミシガン州立大学に行き、歴史を学びました。交換留学で1学期をロンドンで過ごし、大英帝国の歴史について多くを学びました。それは素晴らしい体験で、さらに非西洋や非ヨーロッパ地域の歴史について興味を持つようになりました。

卒業後はシカゴ近郊のノースウェスタン大学大学院に進学し、アフリカ史を専攻しました。フルブライト奨学生として、博士論文のためにケニアで調査を行いました。私は今でも、歴史を学ぶことは、異なる国の政治や経済の仕組みを知る上でとても重要だと思います。

大学院に入学したとき、私は生涯の職業として歴史学の教授になりたいと思っていました。実際、数年間は歴史を教えました。しかしその後、別の考えを抱くようになりました。ケニアでの経験が、私の考えを変える一つの要因でした。私がケニアを離れたのは、ナイロビの米国大使館が爆弾テロで破壊される数カ月前のことです。そのこともあってか、過去の問題を理解するだけでなく、現代の世界の問題解決に力を注ぎたいと思うようになりました。そして、この目標が達成できるようなさまざまな職業の選択肢を検討し、米国の外交官になる試験を受けることにしました。

国務省に入省してからの私のキャリアは、またしても予想外の展開となりました。アフリカでの経験が豊富であったにもかかわらず、外交官として最初に赴任したのはソウルの在韓米国大使館です。それまで東アジアで勤務したことはなかったのですが、この地域への関心がとても高まり、政治、経済、文化についてできるだけ多くを学びたいと思うようになりました。また、ジャカルタとマニラの米国大使館に赴任したこともあり、東南アジアに強い関心を持つようになりました。アジア問題のほかにも、ニューヨークの米国連代表部などで、国際安全保障や核不拡散、軍備管理の問題にも数多く携わりました。これまでの任務を通じ、私は日本の外交官と頻繁に仕事をするようになり、日米同盟が真にグローバルなものであると認識するようになりました。長らく日本で勤務したいと思っていたので、この名古屋で働く機会を得られたことをとてもうれしく思っています。

幸運なことに、妻のミシェルと 2 匹の猫、スヌーピーとサイモンと一緒に、家族で日本に赴任することができました。もしかしたら、名古屋領事館の SNS をフォローしている方は、私の猫たちを見たことがあるかもしれませんね。彼らもインターナショナルで、スヌーピーはインドネシア出身、サイモンはニュー Yorker です。

マンسفールド元駐日米国大使は、「日米関係は世界で最も重要だ」とよく言っていました。何十年も前の発言ですが、その重要性は今も変わりません。日米関係の重要な側面の一つが防衛同盟で、何十年にもわたりインド太平洋地域の平和と安全の維持に不可欠な役割を果たしてきました。両国は、北朝鮮の核・ミサイル開発や、近隣諸国への攻撃的な行動を強める中国などの課題に直面しながらも、同盟関係を強化し続けています。強固な日米同盟は、これらの脅威の抑止に不可欠です。日本が自衛隊を強化しようとしている今、米国の防衛関連企業と日本のパートナーとの協力の機会が増えることを期待しています。国内パートナーの多くは中部地方で活動しています。

日米の安全保障同盟が注目されますが、経済的な結びつきは日米関係の土台です。日本の製造業の中心地、特に自動車産業において長い歴史を持つ中部地方は、両国の経済関係において重要な役割を果たしています。日本は米国における最大の海外直接投資国で、中部地方の多くの製造業者が米国への投資を選択してきました。これは日米双方の利益となります。これらの投資は、米国で労働者の雇用を支え、日本企業には米国市場への幅広いアクセスを提供しています。強力な通商・投資関係は、日米両国民の繁栄に不可欠です。

日米両国は、新型コロナウイルス感染症の大流行から、経済と安全保障の重要な関連性を学びました。両国は、サプライチェーンの安全性の重要性と、重要な材料や部品を特定の一国に、特に国際貿易の規範やルールを守らない国に依存しすぎることの危険性を理解するようになりました。日米両国は、知的財産権の保護や重要技術の安全確保など、経済安全保障の問題についても緊密に連携しています。中部地域は、航空宇宙、輸送、ロボット、工作機械などの重要なハイテク製造業が集中していることから、この取り組みにおいて重要な役割を果たすことになるでしょう。

日米両国は、将来に向けて経済をどのように適応させていくかを考えています。両国は、気候変動の脅威と闘うには、化石燃料に依存しない経済を構築する必要があると認識しています。この課題は、交通機関などの分野で新たな技術を開発するチャンスでもあります。また、日本では少子高齢化という変化に対応する取り組みも行われています。この課題に対応するためには、特にサービスやハイテク分野へ経済を多角化し、製造業を異なる労働環境に適応させることが必要です。これら全ての分野において、米国は日本にとって最適なパートナーとなります。日米の企業が手を携えれば、将来の経済的課題に対応する新しい技術を開拓することができます。

最後に、私と同僚が在名古屋米国領事館で行っている業務について、少しお話ししたいと思います。領事館は昨年、名古屋開設 100 周年を祝いました。この歴史は、名古屋が日米関係において重要な位置を占めてきたことの証です。日米のスタッフからなる私たちのチームは、両国の関係を深めるため日々活動しています。

私たちの最も重要な貢献の一つは、人と人の絆を強化し、相互理解を深めることです。私たちは、米国文化や米国政府の政策を説明するため、対面式とバーチャルのイベントを開催しています。また、日米間の交流プログラムの促進を支援しています。私たちの最優先事項の一つは、米国に留学する日本人学生の数を増やすとともに、米国人の日本留学を促進し、教育パートナーシップを構築することです。残念ながら、新型コロナウイルス感染症が、このような活動を一部困難にしていることは否めません。

また、先ほど申し上げた経済的な結びつきを深める取り組みも行っています。私の最優先事項の一つは、より多くの日本企業に米国への投資を奨励し、ここ日本で米国の輸出を幅広く促進することです。この中部地域ではもちろん、地域を代表する自動車産業や航空宇宙産業に重点を置いているますが、新しい画期的な分野における両国の経済関係拡大も重視しています。

最後に、もう一つの重要な優先事項に触れたいと思います。先ほど申し上げましたように、私にとって今回が初めての日本勤務で、その豊かな歴史と文化を学ぶ機会を得られ大変感謝しております。また、私が待ち望んでいた日本語を実践する機会にもなっています。皆さまとお話しし、日本についてさらに学ぶ機会を楽しみにしています。

ご清聴ありがとうございました。

## 次回例会案内

令和4年6月22日（水）最終例会「役員挨拶」